洪水浸水想定区域の指定について

令和７年６月６日
仙台市水防協議会
宮城県土木部河川課

１．社会的要請・背景

●近年の水災害の激甚化

これまで、大河川である洪水予報河川や水位周知河川について、「想定し得る最大規模の降雨」に対応した洪水浸水想定区域の指定対象とし、避難経路の確保やハザードマップ作成等の避難計画措置を講じているところです。

一方、令和元年東日本台風等の近年の水害では、洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川（その他河川）において、河川はん濫等による人的被害が発生しました。

このような状況を踏まえ、令和３年７月の水防法改正により、洪水予報河川・水位周知河川に加え洪水による災害の発生を警戒すべき住宅等の防護対象のある河川（その他河川）が、洪水浸水想定区域の指定対象に追加されました。

２．市町村におけるハザードマップの作成について（水防法第１５条第３項）

●洪水ハザードマップの作成について

浸水想定区域をその区域に含む市町村の長は、想定最大規模における洪水を対象とし、洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載した洪水ハザードマップを作成が定められており、印刷物の配布やインターネット等により、住民の方々に周知することが定められています。

３．これまでの指定状況について（宮城県）

●洪水浸水想定区域指定の状況と今後の予定について

指定対象となる河川は、県管理河川３２５河川のうち２９１河川であり、令和７年５月には、３７河川を追加指定し２１０河川となりました。

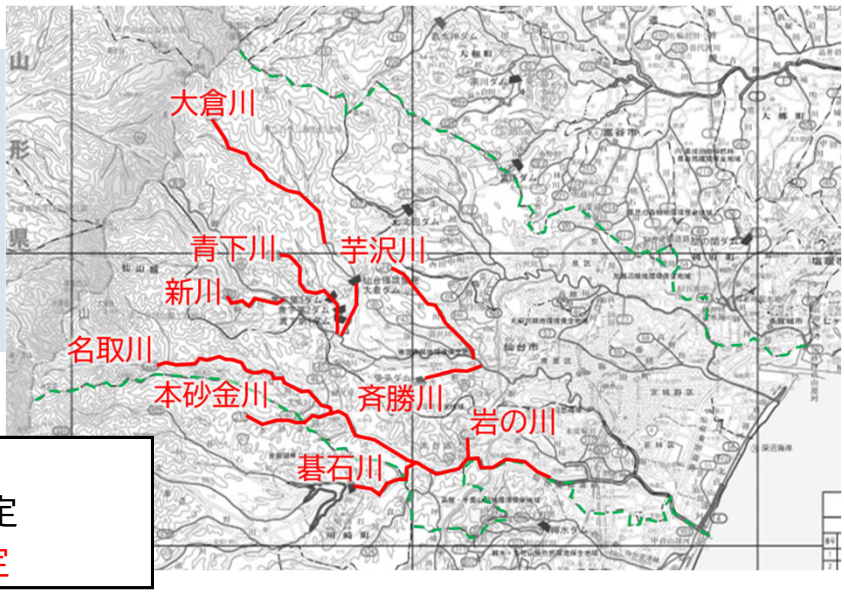
また、令和８年度の出水期までに、住宅等の防護対象のある河川全て（２９１河川）で指定が完了するよう鋭意取り組んでおります。

４．今年度の指定状況について（仙台市）

●令和7年度告示指定河川

令和７年５月には、以下の河川について告示指定を行いました。

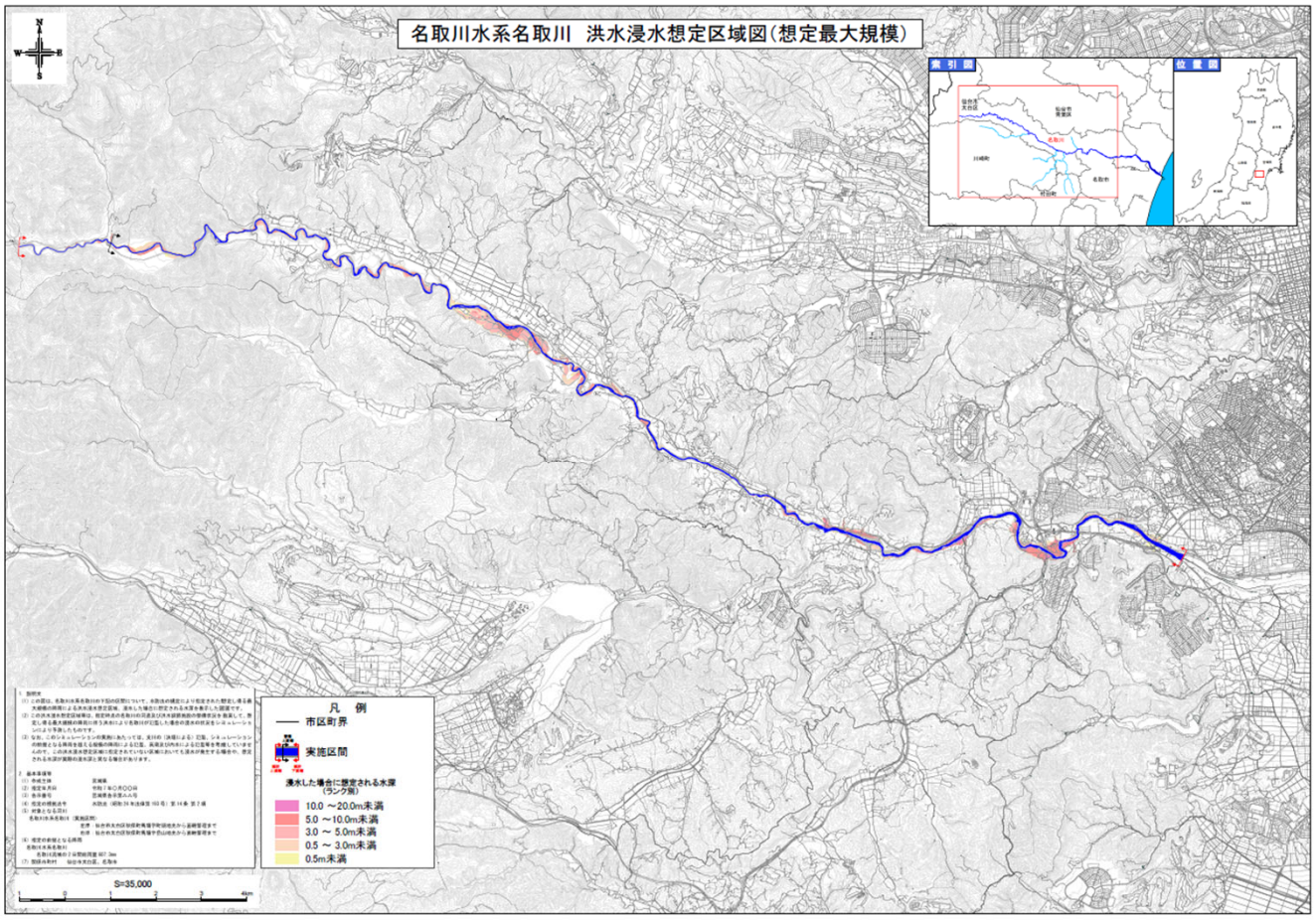
一級河川名取川水系
名取川、岩の川、碁石川、本砂金川、斉勝川、芋沢川、大倉川、青下川、新川

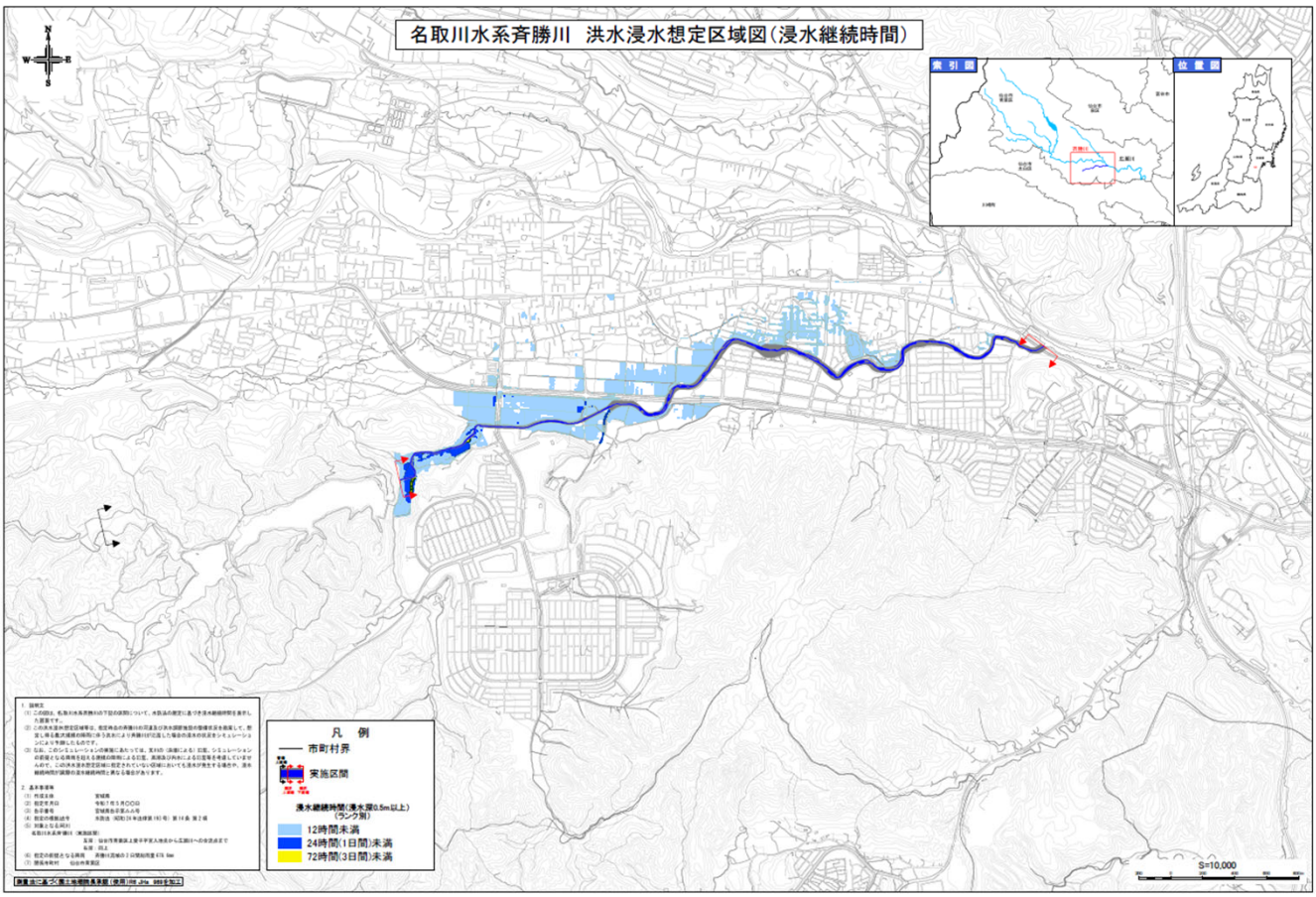


凡例
〇洪水浸水想定区域の指定
－　：令和7年5月新規指定

洪水浸水想定区域図の一例

※この図面は5月上旬時点の図面案になります。実際の告示図面はHPを御確認ください。





詳細は宮城県HP参照
(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/sinnsuisoutei.html)